



社長交代のご挨拶

代表取締役社長 グループCEO

赤坂 祐二

本日のご搭乗、誠にありがとうございます。

平素より日本航空をご愛顧いただき、衷心より感謝を申し上げます。

春の訪れとともに、3月は卒業や転職のシーズンです。別れの寂しさや新生活への不安と、新たな出会いへの期待、未来への希望などが交錯する季節でもあります。

さて私事で大変恐縮ですが、私もこの3月いっぱいをもって日本航空社長、JALグループCEOを退任させていただくこととなりました。本当に多くの方々から温かいご指導を賜り、常にプロフェッショナルとして努力を続ける素晴らしい社員に助けられながら、この6年間を過ごしてまいりました。本当にありがとうございました。

特に、コロナ禍という未曾有の危機と遭遇し、大規模な減便を余儀なくされることとなり、ご利用の皆さまには大変なご不便とご迷惑をお掛けしました。社会にとってなくてはならない公共交通機関の役割を担う責任者として、心よりおわびを申し上げます。一方でコロナ禍中、ご利用のお客さまからいただいた^{ねぎら}いや応援の声、関係の皆さまから差し伸べられた多大なご支援、そして多くの皆さまから、懸命に前を向く社員に向けて温かい励ましをいただきました。その全てに、今も感謝の言葉が見当たらないほどです。私たちがこうした素晴らしいお客さまや関係の皆さまに囲まれている幸せ

を感じた時でもありました。

1962年、北海道札幌市で生まれる。1987年4月入社(技術系)。2009年に安全推進本部長(兼)ご被災者相談部長、2014年に執行役員整備本部長・(株)JALエンジニアリング代表取締役社長、2016年に常務執行役員整備本部長に就任。2018年4月に社長執行役員、同年6月に代表取締役社長、2023年よりグループCEOを務める。最も愛着のある飛行機はボーイング747型機。趣味は飛行機のプラモデル作り、家族と行くスキー、スポーツ観戦(特に野球)。

を感じた時でもありました。

今、かつての忙しい日常に戻り、コロナ禍の間の出来事を忘れそうになるこの頃ですが、あの時の教訓を決して忘れず、こうして皆さまにまたご利用いただけることへの感謝と喜びを感じながら、これからも安全・安心な空の旅をお届けいたします。そして日本航空は、これからも大切な方々との絆や感動的な出会いを結ぶ翼を広げてまいります。

4月からは鳥取三津子が、私の後任として社長、グループCEOに就任いたします。客室乗務員として長く機内でお客さまと過ごしてきた経験や、グループCCOとして多くのサービス企画に携わってきた実績をもって、さらに皆さまからのご期待に応えてまいりますとともに、わが国の誇る安全・安心、ホスピタリティやヒューマンサービスで、JALグループを世界中の皆さまから愛されるエアライングループへと成長させていくものと確信しております。どうか変わらぬ、より一層のご愛顧をいただければと存じます。

誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。